

週報 第3119回

会長 白谷 喜世彦 副会長 原 眞理子
幹事 小門 茂樹 SAA 山本 博章例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org

ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2021年6月26日)

■ プログラム

最終例会・創立65周年記念式典

■ 次週のプログラム

7月2日:新年度会長挨拶

■ 今後の予定

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

■ 先週の例会

会長の時間

「一年を振り返って」

一年間会長の務めさせていただきました。ありがとうございました。そしてこの一年間一緒に会の運営を引っ張っていただきました。理事、委員長のみなさんありがとうございました。また、支えてくれました幹事の小門さん、SAA



白谷 喜世彦 会長

の山本さんには特にお世話になりました。感謝いたします。

ロータリークラブにいらしていただき、いつか会長ということにもなるのかなあと思っておりましたが、そんなのはまだまだ先で、65周年にあたると思っておりました。そして追い打ちをかけるようにコロナの年に当たるとは。とはいえ、65周年ということで、年初ロータリーの中間の結束をかめることができるというと思い、いろんな事業を考えていました。しかし残念ながらことごとく中止となり申し訳ありませんでした。ただ、せめて例会だけでも思い続けてまいりました。例会は、昨年先方が、ごろううされてコロナ下における例会の在り方、方向をつけていただいていたのでなんとかなる年会を続けることができました。みなさまにはご不便をおかけしましたが一年間ご協力ありがとうございました。

ロータリークラブに入会させていただき、気が付けば10年を越えてきました。当初はロータリークラブの意味や意義、また出席になさるでなしか、いかに変わらぬか。次に、ロータリークラブの意味という価値というか、そんなものを感じるようになってきました。そして出席にこだわる意味も。そんなことから、コロナ感染拡大の中でも、できるだけ例会を続けていただきました。

去年、今年と多くのロータリークラブにおいて、例

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3119回

会の休会、隔週にされることも増えてきていました。それでもこんな中なぜ例会を続けようと思ったのかについてお話させていただきます。

昔から、勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなしといわれます。うまくいったときは、自分の仕掛けたこと、自分の力だけではありません。いろんなことの要素と運が大きいように思えます。私は常に、運と縁ということを考えます。おそらくうまくいくためには、99%の運と1%の努力が必要なような気がします。これは努力が1%だけでいいということではなく、成功にすれば要因の話です。だから、どんなになにもなくても運のいい人は成功するし、どんなに正しいことを一生懸命しても運の悪い人は失敗します。とはいえ、なにもしないで天にお祈りして運を天にまかせのかというそうではなく、運を引き寄せるための努力をして運の確立を上げるための努力が必要だし、努力によって運の確率は上がると思っています。このように、私は運を引き寄せる努力が必要だと思っています。

それではどのようにすれば運が引き寄せられるのかというと、もちろん自分の能力を上げたり、段取りをやったりの努力は大事です。でもそれよりも、だれと出会うのか、だれに引き立てられるのかの方がもっと大事です。人はなにかをしようとしたとき、まず知っている人の中からそれができる人を探します。それなら知らんひとがいくらできるという信用できませんからね。また知っている人なら、その仕事だけの付き合いでなく、いろいろな関係があるのでより親身に、責任感をもってやってくれそうですよね。そして、いまの時代は餅は餅屋ではないですが、それぞれの仕事はより特殊化してきているためやはりその道のひとでないとまういかななっています。判断を誤ったりすることが多くなっています。そんなことから先に、自分とは違う道のプロ、さらには違う道のネットワークを持っている人と知り合いになるかということが重要かということがわかんと思えます。そして知り合いといっても顔見知りではなく、なにか通じるものがあるというか、なんとなく信用できる関係にあるというような人が必要か気がします。

このようなネットワークを作るのが、ロータリークラブの意義の一つがあるように思えます。ひょっとするとそれにつきるのかもしれない

せん。単に集まるだけでなく、みんなで社会奉仕という理念を共有し、それに向かって力を合わせていく。そしてさらに大事なことは、毎週顔を合わせて、食事を共にすることだと思えます。不思議ですが人は、同じ空間を共有し、ともに食事を食べることによって親しさが増すそうです。久しぶりに会う友もいろいろの知り合いが、やがて定期的な顔を合わせ続けるのですが、実生活においては親しみを覚えるようです。とはいへ、理由もなく頻りに会って、食事をするのはなかなかむづかしいものです。その難しいことがロータリーの例会では容易にできるわけです。これがロータリークラブの例会の大きな意義のような気がします。ロータリーの神髄は例会、ここにあるような気がします。そして例会を通じて機会の扉が開かれるのです。

このため、コロナ感染のリスクのある中、できるかぎり例会を続けようと思われ、続けてきました。みなさんのおかれまははいろいろご意見もあつたでしょうが、一年間、ご理解、ご協力いただきありがとうございました。

■ 幹事報告 小門 茂樹 幹事

来週6月25日(金)の例会は休会になりました。翌26日(土)65周年記念式典となっておりますので、皆様お間違えのないようよろしくお願いいたします

■ 委員会報告

○本日例会終了後に、65周年記念実行委員会を開催しますので関係者の方、よろしくお願ひ致します

(八木 秀富 65周年記念実行委員長)

○本日例会終了後、次年度会報・I T委員会、社会奉仕委員会の合同委員会がございますのでよろしくお願ひします
(次年度(会報・I T、社会奉仕)委員会)

■ ビジター なし

■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
6/18	32名	12名	—	72.73%
6/4	31名	13名	2名	75.00%

■ メークアップ

榎本(6/14 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
丹農(6/10 高師浜RC)

■ ニコニコ箱

- ・1年間ありがとうございました(白谷)
- ・皆様、1年間ありがとうございました(小門)
- ・本日は1年を振り返っての感想を述べさせて頂きます。1年間どうもありがとうございました(山本(博))
- ・御誕生日お祝有難う御座居ます(外山)
- ・欠席のお詫び(丹農)

ニコニコ箱合計	9,000円
累計	699,000円

先週のプログラム

「一年を振り返って」



小門 茂樹 幹事

まず最初に本年度コロナ過にも拘らずリードして頂きました白谷会長、例会の進行をして頂いた山本SAA、頼りない幹事を支えて頂いた理事メンバーの皆様、色々と教えて頂いた事務局の八谷さん、この会場の段取りをして頂いた外山会員及び例会運営にご協力頂きました会員の皆様に感謝いたします。

昨年、白谷会長がエレクトとして挨拶されている時にやけに私の方ばかり見ながら話をするなあと思っていたら例会終了後、案の定大役を仰せつかりました。

私はロータリーに入会しまして早8年が経ち幹事という役をしてきて改めてロータリーの事は何も知らなかったなあという事を思い知らされました。

私は幹事という役をどうすればいいのか全く分からず、取り敢えず前幹事であった杉本前幹事に話を伺いに行きました。

最初はどうすればいいのかどのように進めて行けばいいのか、色々と教えて欲しかったので会社に伺いました。

ロータリーの事は全くわからなかったので話を伺いました。

結果、良く分かりませんでした・・・。

それから色々な先輩方に色々とお伺いしていく中でだんだんとロータリーというものが何となく分かってくる感じがしました。

今年度泉大津ロータリーは区分7地区の幹事担当に当たっており、岸田君の奨学金申請の継続や来週には65周年式典も控えています。

コロナで中止になった事業も沢山あり、その反面コロナ対策として手指の消毒と検温計測やZOOMを利用したハイブリッド例会も試みました。(某メンバーの車を運転しながらハイブリッド例会参加は少し笑ってしまいましたが)

近隣のクラブは休会が相次ぎ、当クラブも休会になるのだろうか?と思っていました。が会長はそんな気はさらさら無く、コロナ過でもどうすれば開催出来るのか!とやる気満々です。

疾患を抱えている私には少し不安でした。というかんが不安でした。

でも、下を向いて歩くのでは無くどうすれば前を向いて歩けるのかという事を教えてくれました。

そんな中、私に新たな疾患が増えました。脳梗塞です。

自分では梗塞を起こした時ですが、疲れた感じとフラフラするので横になっていけばましになるかな?程度感覚は弱く、脳梗塞になっているとは全然感じていませんでした。

幸いその後遺症は少なく、右手の震えやふらつきはあるものの大した後遺症では無く済み、男前もそのままだったので感謝しかありません。

その間、クラブにはご迷惑をお掛けしました。お休みにしている間に私の体を気遣って会長から何度か電話を頂きました。

その時に「必ず戻っておいでや!」の言葉に目頭が熱くなりました。

思えば60周年森口会長の年に式典の司会の予定が心臓疾患の体調不良で入院する事になり急遽欠席。

今年度65周年の年は脳梗塞でんやわんやという事で、残すは70周年の年にガンになるだけです。

それまでは出来るだけ元気で泉大津ロータリークラブの一員として頑張っていきたいと思っています。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3119回



山本 博章 SAA

この1年は本当に昨年度以上にコロナに振り回された1年でした。

変異株の猛威により政府からの自粛要請→まん延防止→休業要請とその都度、都度、世の中が臨機応変な対応を求められました。

当クラブでも同様でその都度、理事会にて対応を迫られ協議してまいりました。私もその一員として理事会に参加させて頂き会長を始め各理事役員の方々との協議を勉強させて頂きました。正に毎回毎回、様々な意見が出されましたが一人ひとりがこれぞロータリアンという姿勢で発言されていて大変勉強になった1年でした。またSAAとしての例会での役割などについても各先輩方にアドバイスを頂き進めてまいりました。

ロータリークラブに入っていないならば先ず話す事も、お会いする事すらもなかったような泉大津を代表する歴々たる諸先輩方にご指導頂きまして未熟ながらもなんとか1年無事に勤める事ができました・・・本当にありがとうございました。中には山本君、SAAとは例会会場を進行し仕切る立場で昔は言う事を聞かなかった者の首を切りつける事ができる役割だったというお話を聞き、なるほど!であれば時間を切る!ということをお頭に思い浮かべ卓話でのタイムチェックなどして頂きましたが中々ジェスチャーも気づいてもらえずにタイミングも難しく、途中でお話を切ることは容易ではないなと感じておりました。報告は会長さんの時間も飛ばしてしまい委員会報告の時間ですなどと進めよう事もしばしばあり、白谷会長や委員会の皆さまにもご迷惑をおかけしたりしました。

他にはSAAのあるあるですが、食事の終るタイミングが一泊ずれて岸良さんが楽譜をめくって探すという作業をさせてしまったりと、反省点が思い出されます。ですが、この泉大津ロータリークラブに入会しSAAという大役を経験させていただき私にとって本当に充実した1年となりました。次年度SAAを務めて頂きます西田さんにも私の教わったことを引き継いでバトンタッチしたいと思ひます。素晴らしいSAAを期待してまいります。ぜひまだ経験された事のない新会員の皆様

にもクラブの三役のひとつSAAを経験して頂きたいと思ひます。最後に私1年を振り返っての感想といたします。最後に来週65周年での仕事が待っています。で最後の最後にとらない様子を引締めつめて努めさせて頂きたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。以上です。ご静聴ありがとうございました。